

## 第101回 藤野地区まちづくり会議全体会 結果報告書

日時 令和7年1月16日(木) 午後7時から午後8時30分まで  
会場 藤野総合事務所4階会議室  
出席者 宮野代表、森下副代表、今井副代表、由森委員、尾形委員、小山(和)委員、  
山崎(み)委員、渡辺委員、武田委員、佐藤委員、井上委員、高橋委員、  
杉本委員、山崎(和)委員、根本委員、小山(宮)委員、難波委員  
事務局：野崎所長、斎藤副主幹、大塚主査、小室主任  
傍聴者 1名

### [会議内容]

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ(宮野代表)

#### 3 行政からの連絡事項

交通政策課から資料に基づいて説明があった。

##### 神奈川中央交通の説明

バスの乗務員が非常に不足している。翌日の勤務までに9時間空けなければならない。1日15時間勤務できたところが、14時間となった。また、残業時間も960時間の上限規制がなされた。採用に力を入れているが、乗務員のなり手が少ない状況である。

仕事を絞っていかなければならないという状況で、今までは、減便することで対応してきたが、維持することが難しくなっている。神奈川中央交通の乗務員がフルで働いても1割弱の人員が足りない状況である。このような状況であるということをご理解いただきたいと思う。

市としては、これまでのバスの需要を乗合タクシーの路線拡大などにより、カバーすることを検討しており、今年の下半期から実証実験を予定している。

#### ■委員からの意見及び担当課、神奈川中央交通の回答は次のとおり。

委 員：どのような規制がなくなれば運転手を雇えるのか。

神奈中：朝早く、夜遅い、また土休日の勤務もあるというイメージから若者の応募がないと考える。

委 員：バスのサイズの小型化はできるのか。

神奈中：11人以上乗せる場合は、大型2種免許が必要となるため、乗務員不足の解消にはつながらない。大型2種については免許を持つ人数が普通2種免許に比べ少ない。

また、車両サイズが変わったからと言って、コストの大部分を占める人件費が抑えられるわけではない。

委 員：バスがなくなったら人が来なくなってしまう。

和田行のバスは土日に臨時バスが出るほど乗客があるが、乗り合いタクシーでは、その人数を対応できない。

市でも路線バスの確保やスクールバスの活用といった他の方法を考え、地域住民や観光客の足を確保できるようにしてほしい。

担当課：まずは、乗合タクシーを路線バスの代替とすることが最も現実的ではないかと考えている。観光客については、他の事業者にもあたっているが、どの事業者においても担い手が不足している状況である。

スクールバスは、学務課が担当であるが、一緒に検討していく。

委員：公共交通はまちづくりの基本であり、移住促進にも影響するため、しっかり検討してほしい。

委員：自動運転について平塚でレベル4の実証実験をしているが、実装までにどのくらいかかるのか。また、乗務員の採用についてバス業界全体ではどのような動きがあるのか。

神奈中：2030年度にレベル4での実装を目指している。乗務員不足に関する取組としては、日本バス協会を通じて、国土交通省に要望活動を行っている。

委員：資料では中山間地域のコミュニティ交通に年間2億円の市負担額と記載があるが、他の地域と比べるとどうか。また、この金額が上限額なのか。

担当課：相対的な費用では他の地域より多いが、必要が施策あれば予算を投入していく。

#### 4 議 題

(1) 令和6年度第4回環境部会の結果報告について

資料「環境部会会議結果報告書」をもとに井上部会長から報告があった。

(2) 令和6年度第4回藤野未来部会の結果報告について

資料「藤野未来部会会議結果報告書」をもとに高橋部会長から報告があった。

(3) 藤野地区まちづくりを考える懇談会について

【藤野地区まちづくりを考える懇談会】

実施日 令和7年2月13日(木) 18:00～

会 場 藤野総合事務所4階会議室

【報告事項】 沢井川の現状について

井上部会長から当日の懇談会で報告する「沢井川の整備活動報告」について、説明があった。

【テーマ】 藤野地区における人口の減少について

事務局からテーマの内容、質問、発表者等の選出について説明があった。

■委員からの意見及び担当課の回答は次のとおり。

委員：移住定住の課題として、物件が少ないことや建物内」の片付けが課題にある。防災等中山間地域と市街地で区別をつけてもらいたい。

鳥獣害についても市街地にはない課題がある。

地位活性化事業交付金についても、市街地ではあまり活用されていないと聞くので、配分を検討してもらいたい。  
子どもについてもどれかに絡めて問題提起したらどうか。

委員：ふる里まつりを開催するのに名倉グラウンドは20万円近く使用料かかるが、他地区はかからない。  
藤野地区の地域性や特徴ににあった支援をしてもらえるように市長に伝えていきたい。

委員：人口減少の問題は、市も何かを検討しているはずのため、短期・長期的な取組が聞けると良い。

代表：政策要望として、子供のグラウンド使用料を半額にできないか働きかけをしたいと思っている。

#### 【質問、発表者（案）】

- ・移住、定住について 山崎（和）委員
- ・グラウンドの使用について 山崎（和）委員
- ・路線バスについて 清水委員
- ・都市部と藤野地区の環境の違いについて 高橋部会長

#### 5 その他

##### 次回会議

- 環境部会：令和7年2月19日（水）
- 藤野未来部会：令和7年2月25日（火）
- 全体会：令和7年3月13日（木）

#### 6 閉会（森下副代表）

以上